



あらしま 3月号



登り棒で遊ぶ子ども達

～心も体もたくましく、ありのままの自分を表現できる子どもの育成をめざして～

「今〇ら」〇に何を入れるかは自分次第！今年度もあと〇日！

今年度もあと数日で終わろうとしています。

この1年間を振り返ると、コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、教育活動の中止や変更を余儀なくされた1年だったと思います。しかし、感染症対策を万全にし、運動会、学習公開日、修学旅行、宿泊研修、各種集会活動、学習発表会等、子ども達も含め、みんなで知恵を出し合い、工夫をしながら実施してきた1年間でもありました。

ただ、子ども達には、いろいろな我慢を強いられる年になってしまったということが悔やまれます。しかし、各行事の後には、保護者の皆様から「開催していただいてありがとうございました。」という多くの声をいただき、職員一同、喜びと感謝の気持ちでいっぱいでした。この他にも保護者の皆様、地域の皆様には様々な対応や温かいご支援、そして本校の教育活動に対してのご理解とご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

この数日、寒い日もありますが、子どもたちは、休憩時間には校庭に飛び出し、鬼ごっこ、球技、遊具等、外遊びを楽しむことも多くなってきました。インフルエンザも流行することもなく、みんな元気に登校しています。この調子で、卒業式や修了式を迎えたいと願っているところです。

さて、3月4日（木）の全校朝礼では、以下のような話をしました。すっかりリモートに慣れていましたが、やはり子ども達の顔を見ながら話したいと思い、寒い中、体育館に集まってもらいました。

まず、3学期修了式までの登校日は**15日間**（6年生は**12日**）ということを確認しました。そして「今〇ら」の〇の部分にはどんなひらがなが入るのか、意味も含めて考えてもらいました。

①「今〇ら」・・・あとわずか■日しかない、今さらやってもむだだ、あきらめの気持ちや後ろ向きの気持ちが込められています。

②「今〇ら」・・・まだ間に合うかもしれない、できるかもしれない、一歩踏み出す時の気持ちかもしれません。

③「今〇ら」・・・まだ▲▲日あるぞ、さあ今からやってみよう、希望や期待、新しい目標まで見えてきます。

一文字のひらがなを入れ替えるだけで、全く違った意味になるから日本語は不思議ですね。

①「今〇ら」のように、「やってもむだ、もう遅い」とあきらめてしまうのか、②「今〇ら」や③「今〇ら」のように、「まだ間に合う、やってみよう」と動き出すか、それはやっぱり**自分次第**だと思います。

子どもたちは、これからも長い人生の中で、大きな目標、小さな目標、長期目標、短期目標・・・自分で目標を設定していくこともあるでしょうし、他から課題を与えられることもあるでしょう。

3学期の始業式で話したように、自分の決めた目標やめあてに向かって、**失敗やまちがいをおそれたり、簡単にあきらめたりしないで、まっすぐ突き進んでいく子どもたちであってほしい**と思います。お話の最後に、先人の「失敗やまちがいに」に関する名言・金言をいくつか紹介しました。



松下幸之助（パナソニック創業者）：「失敗したところでやめるから失敗になる。成功するまで続けたらそれは成功になる。」

西洋のことは：「失敗とは、つまづくことではない。つまずいたままていることだ。」

稲盛和夫（京セラ、KDDI創業者、JALを建て直した人）：「挑戦しているうちは失敗ではない。あきらめた時が失敗である。」

岡野雅行（金属加工職人、岡野工業社長、製品が世界の大企業・NASAから注目）：

「仕事っていうのは成功するまでは失敗の連続なんだよ。失敗するのが嫌だなんて言ったら成功なんてあるわけない。」

本田宗一郎（ホンダ技研創業者）：「失敗することをおそれるよりも、何もしないことをおそれろ。」

松井秀喜（元大リーガー）：「生きる力とは成功を続ける力ではなく、失敗やまちがいを乗り越える力である。」

大林宣彦（映画監督）：「他人のようにうまくやろうと思わないで、自分らしく失敗しなさい。」

「出発するのです」！ みんな「初めて」からの出発！羽ばたけ6年生！

19日に卒業していく34人の6年生。いろいろな活動を通して本当にすばらしい成長を遂げました。

毎朝の集団登校や掃除では自分の役割をきちんと果たし、下級生のお世話をしてくれました。

学校行事や児童会活動では1人1人の個性を輝かせながら、常に先頭に立って活躍し、荒島小学校のリーダーとしてしっかりとした足跡を残してくれました。今年は、コロナの影響で、運動会や児童会をはじめ、自分達が思い描いたような活動が出来ず、ずいぶん悔しい思いもしたでしょう。しかし、どうしたら出来るのかを真剣に考えて、自分達の工夫やアイデアを生かした提案をたくさんしてくれました。おかげで、全校みんながしっかり楽しめたと、終わってみれば、コロナの影響なんて少しも感じさせない、**コロナに負けなかった1年間**でした。

きっと中学校でも、さらに多くを学び様々な力を身につけて、よりたくましくなっていくことでしょう。その姿を見るのが今から楽しみです。心を込めて送り出したいと思います。

また、その背中を追い続けた在校生も、うんと成長して、まもなく進級の時を迎えます。それぞれの成長を荒島小ファミリー全員で喜び合いながら今年度を締めくくるとともに、来年度に向けて、さらに素晴らしい荒島小学校にしていきたいと、強く思う今日この頃です。

給食室前の「校長コーナー」を卒業式仕様にししました。掲示した詩は、山本瓊子さんの『出発するのです』です。4月から中学校に進学する6年生にとって、この時期は期待よりも不安な気持ちの方が大きいかもしれません。誰でも何か新しいことをスタートさせたり、チャレンジしたりする時は、不安がいっぱいです。しかし、人は何かをしようと立ち上がる時、みんな「初めて」からの出発です。

この詩は、一人で心細く、出発をためらっている時、背中をぽんと押してくれそうな力強さがあります。あれこれと思い悩むよりも「えいっ」と気持ちを奮い立たせて「**出発**」してください。

今年度の卒業式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策を講じた上で、4・5年生も参加します。2年ぶりに卒業生と在校生の呼びかけや歌の掛け合いが復活します。1～3年生は、参加しませんが、これまでしっかりと築き上げた卒業生と在校生との絆は、簡単に絶たれるようなものではないと思っています。

3月19日、「最高」の卒業式になるよう、卒業生、在校生、教職員、それぞれの役割で残り3日間がんばろうと思っています。



みんなのために！ありがとう！6年生！

♥6年生は縄跳びが大の得意です。これまで、学級でも体育の時間に、短縄跳び・長縄跳び、たくさんの技を磨いてきました。卒業を前に、縄跳びと一緒にしてほしいといういろいろな学年からのオファーもあり、体育や休憩時間に縄跳びを教えてくれています。30秒跳び、8の字跳び、ダブルダッチ・・・持っている技を余すところなく、後輩に伝授しています。8の字になかなか入れない子には、優しく背中を押してくれたり、ひっかかった時でも励ましの言葉をかけてくれたり、6年生の後輩を思う気持ちが随所に表れていました。

1年生～5年生までにとって、6年生はまさに憧れの存在！その6年生から技を教えてもらえたとあって、それ以降も張り切って、縄跳びに取り組む姿が校舎内でたくさん見られています。

♥先週は、2日間にわたって、清掃作業や奉仕作業をしてくださいました。卒業式会場となる体育館を中心に、外倉庫や昇降口の掃除、ボールの空気入れ・・・どんなことを思いながら、6年間お世話になった校舎を掃除していたのでしょうか？「ありがとう」という思いの他にも、もしかすると、「もうしばらくここにいたいな」と思っている人もいるかもしれませんね。

普段手の届かないところまで掃除してくれた6年生！

「**立つ鳥 跡を濁さず**」に、次のステージへ！

ありがとう6年生！



今年度最後の学習公開日 1年間の成長を感じました！

2月16日（火）は、今年度最後の学習公開日でした。学習成果の発表会をする学級もあって、普段の学習を見てもらう学級があったり、二分の一成人式を見てもらう学級があったり・・・1年間の終わりということで、学習の姿勢、発言・発表内容等、どの学級も素晴らしい学習態度で、1年間の成長を感じ大変うれしく思いました。



その後、2回目の学級懇談会も開かれ、子どもたちの成長の様子や学級の様子などを話し合っていました。前回の学習公開日からひと月も経っていないのもかわらず、たくさんの保護者の皆様に来校いただき、子ども達も大いに張り切って学習に取り組むことが出来ました。来年度は、さらに成長した姿をお見せできるのではないかと考えております。

その夜には、第4回PTA執行委員会も行われました。コロナ禍で、なかなか思うような活動が出来なかったと思いますが、1年間しっかりと学校の教育活動、そして教職員を温かく見守り、支えてくださいました。心より感謝いたします。来年度もよろしくお願いいたします。

6年生を送る会 ～5年生大活躍！！各学年から心のこもった出し物のプレゼント～

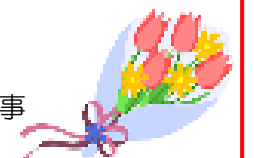
2月26日（金）「6年生の楽しい思い出になるような送る会にしよう」というスローガンのもと、「6年生を送る会」を行いました。この日のために、5年生は2月3日の代表委員会以前から計画を立て、準備を重ねてきました。他の学年も出し物や各学年に割り振られたプレゼント、飾りなど、一生懸命準備・練習をしてきました。

久しぶりに全校が体育館に集うとあって、当日の体育館は、冷えていたにも関わらず、1年生から5年生の熱気で心も体も温くなる素敵な会になりました。

6年生1人1人、将来の夢や中学校でがんばりたいことのパレーションをバックにかっこよく登場！決めポーズもバッチリでした。1年生から4年生は、歌、ダンス、メッセージで、6年生に感謝の気持ちを伝えました。それぞれに学年の個性が出ていて、見応えのあるものでした。（教職員の出し物もがんばりましたよ！田中先生の「もしかめけん玉」すごかったですよ！）

5年生が工夫を凝らしたクイズやゲームも素晴らしい出来で、6年生も大満足で参加していました。5年生が作った思い出のスライドもあまりの懐かしさに思わず歓声が起こる演出でした。これまでお世話になった先生方、メッセージを届けていただき、ありがとうございました。6年生もうれしそうでした。

6年生からのお礼は、ダンスや長縄そして全校に向けたメッセージでした。前日心配していた「くす玉」もバッチリ！中からは、紙吹雪の他に「夢を持って羽ばたけ」というメッセージが見事に表れました。送られる方も送る方も最高のひとときとなりました。



漢字・計算大会を振り返って

2月17日（水）漢字・計算大会が行われました。今年度の漢字・計算大会も今回で9回目（1年生は8回目）、最終回となりました。



全校児童、これまで100点×9回+ボーナス点（3回連続合格で100点）＝1000点をめざしてがんばってきました。結果はどうだったでしょうか？漢字の部、計算の部、それぞれカードに記入してあると思います。しっかりと自分の結果をみつめ、勉強した時間ややり方について振り返りをしてほしいと思います。

新しい学年まで、あとわずか！今年習った漢字や計算のまとめをしっかりと、次の学年へ向かってほしいと思っています。



おめでとうございます！

★火災予防習字コンクール

（金賞）

（銀賞）

（銅賞）

（入選）

★島根県新聞コンクール

（入選）

（佳作）

★島根県みんなで調べる中海流入河川調査

（奨励賞） 荒島小学校4年生



ありがとうございました

～学校評価～

保護者の皆様には、年度末のたいへんお忙しい時期に、「学校評価」にご協力いただき、ありがとうございました。

9日にお知らせした結果については、しっかりと受け止め、改善点を整理し、今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。本当にありがとうございました。

また、2月16日の学校関係者評価委員会では、委員の皆様にご結果をお示しし、貴重なご意見をたくさんいただきました。合わせてお礼申し上げます。来年度もよろしくお願いいたします。

次はまかせてください！ 後期児童総会

2月19日（金）後期児童総会が行われました。各委員会が後期の活動を振り返り、反省とともに来年度の新しい児童会へたくさんのアドバイスをいただきました。



今年度6年生は、前期も含め、やりたかったことがなかなか出来ず、歯がゆい思いをたくさんしたことでしょう。しかし、今できることをしっかりと考え、アイデアや工夫を加えながら、毎日の地道な当番活動や楽しい集会や遊びを計画してくれました。おかげで、全校児童が規則正しく学校生活を送れ、元気に楽しく登校することが出来たのではないかと考えています。

この日は、家庭科室からリモートで各教室に配信しました。5年生、4年生は身を乗り出して、画面の6年生の発表を見ていました。「次は僕たち・私たちが・・・」という強い思いが伝わってきました。

6年生から4・5年生にしっかりとバトンが渡された瞬間でした。4・5年生が6年生の思いをしっかりと受け継いでくれることでしょう。6年生のみなさん、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

【主な行事予定】

- 4月 7日（水）学年始休業終了
- 8日（木）着任式 始業式
入学式準備（午後）
- 9日（金）入学式（10：00）
- 12日（月）給食開始（2～6年生）
- 15日（木）1年生給食開始 町内児童会
- 16日（金）全国学力調査（6年生）
- 19日（月）児童委員会◎
- 28日（水）安来市教育研究会部会のため、午前中授業
- 29日（木）昭和の日
- 30日（金）学習公開日 PTA 総会 学級懇談

※学習公開日の日程や内容については、変更もあります。ご了承くださいませようよろしくお願いいたします。



新たな遊具が増えました！ 登り棒設置

2月15日から行われていた「登り棒」の設置工事（校門左手側）も終わり、3月3日（水）から使えるようになりました。この日の学級朝礼では、どのクラスも使用上の注意をしっかりと聞きました。大休憩になると、授業が終わったクラスから校庭へ！少し風が冷たい日だったにもかかわらず、たくさん子ども達が登り棒に向かっていきました。最初からいとも簡単に上まで登れる子、途中で力尽きる子、登るすがわからず、下から眺めているだけの子・・・ここから勝負です！滑らないよう裸足になる子、登れる人を見てこつをつかむ子・・・何とか登ってやろうとする、必死さが応援するこちらにもよく伝わって来ました。簡単にあきらめない子は、いつか必ず登れるようになります。



遊具を含めた外遊びは、バランスのいい筋肉形成につながるとともに、心肺機能や骨の形成などの発達にもいい影響を与えます。疲れるまで遊ぶことにより体力もつくし、夜もしっかり眠ることができます。生活リズムの好循環にもつながります。また、外遊びで思いっきり体を動かすことにより、あらゆる神経が刺激されて脳の前頭前野が活発に働くようになります。前頭前野は集中力や忍耐力を司る機関です。前頭前野を活発に働かせることは、子どもの精神的な落ち着きや集中力につながります。

流行が一過性にならないよう、何度も何度も挑戦を繰り返してほしいと願っています。